

Info for Wood Export

海外市場情報



Vol. 2, No.28, 2007

2007年10月2日発行

韓国の木質床板の価格形成要因

木質床板の国内生産量と輸入量は、2000年から増加が続いている。特に2004年からの学校教室の木質内装化運動の推進に伴って木質床板の国内需要が増加したため、国内生産量は22.93万 m^3 に、輸入量は4.7万 m^3 に達した。その後、国内生産量が減少に転じたものの、輸入量の増加が続き、両者の合計が横ばい傾向にある。

表1 床板の国内生産量および輸入量

(単位：千 m^3 、%)

年	国内生産量 A	輸入量 B	計 C=A+B	輸入比率 (B/C)*100
2000	53	20	73	27.4
2001	100	23	123	18.7
2002	157	38	195	19.5
2003	217	45	262	17.2
2004	229	47	276	17.0
2005	213	73	286	25.5
2006	183	88	271	32.5

資料：韓国合板ボード協会

こうした中で、国産床板の価格形成に影響する因子に関するアンケート調査を行った。生産企業からは、「原価上昇など」が17.7%でもっとも大きく、次に「表面の見掛けや色彩」が17.2%、「台板の品質」が15.6%、「塗装品質」が13.1%、「寸法状態」が12.8%という回答であった。

表2 床板の価格形成の影響因子に関するアンケート調査結果
(調査対象者：生産企業)
(単位：%)

項目	回答率
表面の見掛けおよび色彩	17.2
台板の品質	15.6
塗装品質	13.1
寸法状態	12.8
製造業者の知名度	12.2
生産地	11.4
原価上昇など	17.7
合計	100.0

資料：国立山林科学院、林業経済課、2003年

床板の輸入および施工企業に対してアンケート調査した結果、価格形成に影響する因子として、床板の「生産地」が31.3%で一番高い。その次が「製造業者の知名度」で18.8%、「台板の品質」が18.7%の順となっている（表3）。

表3 床板の価格形成の影響因子に関するアンケート調査結果
(調査対象：輸入および施工企業)
(単位：%)

項目	回答率
生産地	31.3
製造業者の知名度	18.8
台板(合板、ボード)の品質	18.7
事後管理の費用	15.6
製造技術	12.5
流通コスト	3.1
合計	100.0

資料：国立山林科学院、林業経済課、2003年

また、消費者に対して床板の材料としてどのような材料を好んでいるかについて質問したところ、木材が 70.9%で最も高かった。その次が合成樹脂類で 19.4%を占め、木材との大きな差を見せている。好む理由としては木材の場合、「質感が良い」が 47.8%で一番多かった。その次が「健康に良い」が 31.1%であった。合成樹脂類を選択した理由の中で、「実用的」が 68.6%を占めた。

表4 床材の材料選定に関するアンケート結果

材 料	人数(比率 %)	好む理由	人数(比率 %)
木材	197(70.9)	経済的	4(2.2)
		実用的	30(16.7)
		健康に良い	56(31.1)
		質感が良い	86(47.8)
		色、形が多様	2(1.1)
		その他	2(1.1)
合成樹脂	54(19.4)	経済的	7(13.7)
		実用的	35(68.6)
		質感が良い	3(5.9)
		色、形が多様	6(11.8)
オンドルの部屋の床紙	5(1.8)	経済的	1(20.0)
		実用的	2(40.0)
		質感が良い	2(40.0)
カーペット	11(4.0)	経済的	2(18.2)
		実用的	2(18.2)
		質感が良い	5(45.5)
		色、形が多様	2(18.2)
石材	8(2.9)	実用的	1(12.5)
		質感が良い	6(75.0)
		色、形が多様	1(12.5)

タイル	3(1.1)	実用的	1(33.3)
		健康に良い	1(33.3)
		色、形が多様	1(33.3)

資料：Kwon, Oh-Jung. Jeon, Kye-Won 「アパート居間の床材に対する選定と満足度」、『韓国住居学会誌』10(2):1-12、1999年。

以上の結果を見ると、木材に関しては質感と健康上のメリットによって高く好まれる傾向が見られた。

韓国住宅の内装の実態と木材の利用状況を見ると、一般的には社会に普及されていないことがわかる。生活の質の向上が主な関心事となり、健康と環境に重要な木材に対する関心が高くなっている。

コンクリート文化の下で、住宅建築と生活文化はますます発展の原動力を失いつつあり、今後、持続可能な発展のためには精神的価値を追い求める木材生活、新しい価値基準が必要な時期が来ている。

ハイブリッド(hybrid)木造建築と言うのは、主要な構造部に木材や人工の材料を適切に使って建物を作ることである。これは木造建築、コンクリート建築、鉄骨建築が共存し、各々の材料の長所を取り入れて新しい住居文化を創造する建築方式である。これに対する方策の策定が要求されている。

(本稿は大韓民国忠南大学校の金 世彬教授、郭 昶鎬博士からの原稿に基づき編集した。)